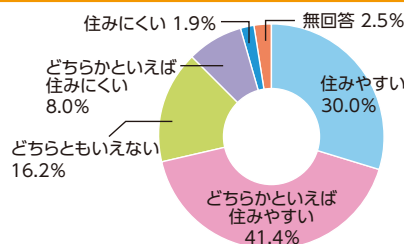


令和元年度太宰府まちなづくり市民意識調査結果

問い合わせ 経営企画課(☎内線535)

『住みやすい・どちらかといえば住みやすい』と答えた人は

71.4%



その中でも『住みやすい』と答えた人は昨年度からさらにUP !!

特に重要度の高い5つの施策については昨年度と大きな入れ替わりはありません。「自然共生社会の構築」「生涯学習の推進」の満足度が昨年に比べ大きく上昇しました。

重要度が高い5つの取り組み(全体平均4.48)

順位	項目	得点	昨年順位
1位	子育て支援の推進	5.34	1位
2位	良質な水道水の安定供給	5.17	2位
3位	高齢者福祉の推進	5.14	4位
3位	社会保障の適正な運営	5.14	3位
5位	防災・消防体制の整備充実	5.13	6位

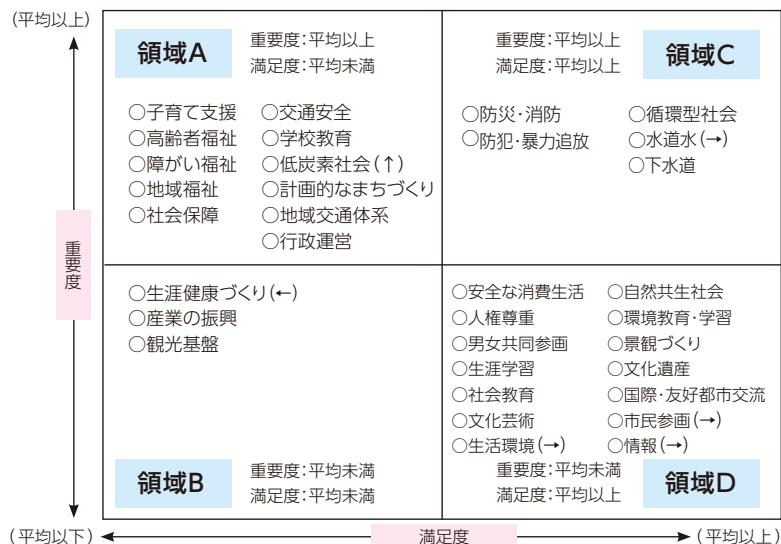
満足度が高い6つの取り組み(全体平均3.09)

順位	施策	得点	昨年順位
1位	文化遺産の保存と活用	3.67	1位
2位	下水道の整備と普及促進	3.61	4位
3位	自然共生社会の構築	3.47	8位
4位	文化芸術の振興	3.38	2位
4位	生涯学習の推進	3.38	11位
4位	人権を尊重するまちづくりの推進	3.38	3位

※重要度・満足度得点…「重要」「満足」という評価であれば6点、「やや重要」「やや満足」4点、「あまり重要でない」「やや不満」2点、「重要でない」「不満」0点とそれぞれ得点化し、4つの評価の回答者数で割った値

昨年と比べて「低炭素社会」の重要度、「水道水」「生活環境」「市民参画」「情報」の満足度が上昇しています。

領域別に見た行政施策



各領域該当項目の特徴	領域A	今後改善の優先度が高い（行政ニーズが高い）。
	領域B	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度を上げていく必要がある。
	領域C	重要度・満足度ともに平均以上で、引き続き取り組みの充実が求められる。
	領域D	重要度が低く、満足度が高いもので、今後、施策の重要性を理解してもらうことが必要である。

重要度得点と満足度得点の平均値を境界として4つの領域に分けると、重要度が高く満足度が低い、行政ニーズの高いA領域の項目には「子育て支援の推進」「高齢者福祉の推進」「学校教育の充実」「市民のための行政運営」など11項目があがっています。皆さまから頂いた結果をもとに、今後さらに事業の充実を図り、満足度向上を目指します。

調査概要

- ◇調査対象：市内に居住する18歳以上の市民
- ◇調査対象者数：1,000人(郵送)
- ◇抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出法
- ◇回答数(率)：524件(52.4%)
- ◇調査期間：令和2年2月7日～21日
- 調査結果は市ホームページに公開しています。